



そろそろ「報恩講」のことが頭をかすめる時期となり、心の準備を調べていかなければならない。そう思っていたある日の朝、月命日にお伺いしたお宅で、私と同じ思いでいてくださるご門徒さんがいてくださいました。

「おはようございます」。その方は、雲一つない青空の下(もと)庭先の畑で「だちきり」(土の表面の草を削り取る農具)で草掻きをしていらっしゃいました。病弱でとても畑仕事ができる体ではないと思っていましたが、意外にも畑に立っていらっしゃったのです。「大丈夫ですか?」。青々とした大根の葉や、サトイモの育つ中で、「ええ、今年も「報恩講」にお供えができるよう、少しずつですがやっています」と。私は思わぬ言葉に驚きましたが、改めて多くの人に支えられながらの「報恩講」なのだ、有難くもあり、大変心強くも思われましたことでした。

本山では親鸞聖人の御命日に合わせて11月22日から28日まで報恩講が営まれます。また全国の末寺でも、この前後の期間には報恩講が営まれるもっとも重要な法要です。この日に合わせ、ご門徒が芋や、大根、蓮根などを持ち寄り一汁三菜のお齋(とき)を作るのです。お齋は持ち寄った者と分け合っていたたく者との思いが重なる尊い食事です。光受寺もこの方をはじめとして、多くのご門徒の方々の思いが届けられ、多くの方々のお力によって今年も報恩講が勤められると思うと、感慨深く思われます。

本山奉仕団に参加して

H・K

この度、本願寺奉仕団の一員として参加できたことは、この上もない喜びであります。

以前より機会があればぜひ参加したいと心待ちにしていましたが、幸いにして光受寺の住職さんのお計らいにより、実現することができました。体の動けるうちに「行ってみよう」、口から思っていましたので大変うれしく思いました。

本山では何度もお説教を聞いて、今生がされている自分に感謝しています。また、お磨きの後に教導・補導の先生から仏具の正式な飾り方についての分かり易くご指導をいただき、有難く思っています。

私は足が不自由なので、広い境内の中を住職はじめ女性の方々に車椅子を押ししていただき、十分に見学することができました。東本願寺に参詣したことにより、仏さまに対する気持ちや考え方が変わり、日々幸せを感じながら仏壇にお参りをしています。

この度、皆様にお世話になりましたことに対し、心より感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

M・U

この度初めて本山奉仕団に参加させていただき、ご住職の奨めもありましたので、少しためらいながらも帰敬式を受けることになりました。

上山後の時間刻みのスケジュールで、何度かお経を唱え、講義を受けるうち、いつの間にか前向きな気持ちになりました。

一日目。厳かな帰敬式の途中では思わず涙があふれてきました。この場所へ連れてきてもらうことがありがとうございます。と、何度も口の中で呟いておりました。これが佛さまと縁を結ぶということなんだと、素直に感じた時間でした。

私には与えられて人生があつて、これからも支えられながら生きて生かされてゆくのだと感じました。この気持ちがこの先ずっと続いていくよう大切に生きたいと思えます。改めて帰敬式を奨めてくださってご住職に感謝申し上げます。

報恩講のご案内

十二月九日(日) 午前午後



法話 倉住 秀悟氏

門徒総会 十二月九日(日) 午後二時〜

光受寺の運営にあたり、年に一度の重要な会議です。ぜひご参加いただきご意見をいただけたらと思います。

お磨き 十二月三日(月) 午前九時より

多くの方々のご協力をお願いいたします。
おそやかながらお昼の用意をしております。

今月の法語



花生

如来浄華の聖衆は 正覚のはなよしの花生

衆生の願楽にまじりて 妙なる花の満ちた

『高僧和讃』

仏の知恵に呼びよせられ 生まれ変わりを表す言葉です。
それはまさに 往生するところ、いよいよ徹底して 自
分の生き方が変わるようになり、おそやかながら、

意外に知らない浄土真宗

朱印がない

朱印は追善供養のために写経したものを社寺に奉納した時にただく受取印が起源なので、追善供養を行わない浄土真宗では御朱印がありません。



冥福、霊前は使わない

冥福とは冥土の幸福という意味です。浄土真宗の場合は「くなれば阿弥陀様のご本願により、極楽浄土へ帰りますので冥土の幸福を祈る必要はないのです。」
「亡くなった時点で仏さまになられますので、霊前とは言わず、仏前と言います。

迎え火、送り火はない

迎え火送り火は中東から中国に渡ったもので、本来の仏教とは関係ありません。仏さまはごも私たち身の回りにおられますので、ご帰るごもごもはあきらめさせません。

その他はまだ多くのことがありますが、迷わなご浄土真宗の教えに照らし合わせて生活したいものです。

ご連絡

・ 十二月の学習会 喫茶店は休ませていただきます。

なにかお悩みごと。「そんな漠然とした思が沸き起し、いらいとはありませんか。共に生かすことの意味を確かめつつ、意義ある人生を送りましょう。仲間が待っています。」

毎月 第 五 日 曜 日 7 時 30 分 まで 参加いただけます。